

太田睡眠科学センター 所長	伊藤 洋 様
橋本生理人類学研究所 所長	橋本 修左 様
信州大学 繊維学部教授	金井 博幸 様
一社)日本福祉用具供給協会 事務次長	伊藤 広成 様
一財)ポーケン品質評価機構未来研究所所長	伊藤 智樹 様
文化学園大学 服装学部教授	佐藤 真理子 様

JBA:ヘルスケア認定寝具 TM 認定委員会事務局

Tel:03-6661-0213 Email:info@jba210.jp

第8回ヘルスケア認定寝具 TM 認定委員会 議事録

記

- ・開催日時：2024年2月13日（火）10：30～11：45
- ・開催場所：一社)日本寝具寝装品協会 事務所
東京都中央区日本橋小舟町7-2 小舟町243ビル7F
- ・出席者：認定委員5名、所用により佐藤先生欠席、策定委員池田、事務局 稲本、村本
- ・議題：ヘルスケア認定寝具新規申請商品3点の認定検討
稲本 申請1
(株)東洋羽毛工業「羽毛ふとん」添付解説書をもとに申請機能項目とエビデンスの説明を行い審査。なおこの商品は2021年認定商品の側生地変更。
機能項目3項目、衛生機能3項目、メンテナンス機能2項目、企業社会性1項目。

伊藤智委員 調温調湿機能についてサーマルマネキンが使用できれば可能である。湿度はよいが温度の変化かがどうか。前回データはどうだったか。次の保温性のクロー値は問題ない。

橋本委員 表裏のソーイングがズレているからクロー値が若干違うのであろう。

金井委員 調温調湿は変化に使う言葉で変化が起こった時に出るデータ。調温と調湿は性能が違う。33℃±1℃にどれだけ近づける時間のギャップについてサーマルマネキンが使えれば。人工環境室の環境を変えて温度差を28℃ぐらいに設定して測定ができるのでは。いかに早く温度変化が起こるか。保温性だけなら問題なし。調温・調湿が機能のセットになっているから難しい。

伊藤洋委員 カテゴリーは調温・調湿だが、カタログや表示等では謳っていない。
稲本 今後調温データ取得が可能かは確認してみる。前回同様、申請商品を認定とする。

稲本 申請 2、3

西川(株)「&Free マットレス/ハード、レギュラー」申請機能項目とエビデンス説明を行った。2021年の第3回申請で認可された商品のウレタンスリット一部変更に伴う再申請を以下の機能説明とエビデンスについて説明した。

機能項目 6 項目、衛生機能 1 項目、メンテナンス機能 2 項目、企業社会性 2 項目

伊藤洋委員 血中コルチゾール、成長ホルモンを測定している時刻は一定の時刻か。
血流データは仙骨部。床ずれが起きるスタンダード部分。体圧がかかる場所として適当。姿勢が沈み込まない量で出ているので可と言える。

金井委員 一時の沈み込み量だけの判断による答えはないと思うが一般的には仙骨で取るのが一般的か。

伊藤洋委員 仙骨で取るのがスタンダード。褥瘡も状況によっては1日でできる。
高反発（エアウィーブ）低反発（トゥルースリーパー）との比較がされる。低反発（湾曲がよい）高反発はどうか、エンドポイントはどこかになる。

金井委員 ⑬の仰向け寝時の自然な寝姿勢の保持は何を持って自然と謳っているのか。
筋負担は心理的要素と思う。

伊藤洋委員 体動があったほうが良い。ないと寝たきりの方は床ずれがすぐに出る。

伊藤広委員 ヘモグロビン濃度を上げたり下げたりは食事と運動との関係もある。同一被験者はマットを使う因子（食生活もどうなのか）→ 同一ではない。

橋本委員 寝姿勢はまくらとの関係。高さで変わってくる。首・頭、呼吸の問題が関連。
まくらとの関係が作用して、沈み込み量もそれで変わるのではないか。

伊藤洋委員 データは軽い不眠がある方でその方が上を向いて寝ると効果が出る。枕との関係と横寝の関係が関わる。ピッツバークのデータもそうである。

金井委員 PSG（睡眠ポリグラフデータ）があればもっとわかるだろう。

伊藤洋委員 ヤクルト 1000（機能性表示食品）よりこちらのほうがよっぽどのデータ量が多い。

池田 特保、機能性表示食品のような制度が寝具にもあるといいと思う。

稲本 以上のことから、前回同様申請商品を認定する。

3 商品は全て承認。併せて各社に内容を整理して以下の伝達を行った。

《(株)東洋羽毛工業への指摘、伝達》

1. 調温・調湿機能の調温についての今後の試験方法を模索して頂く。調温は謳っていない。
2. 弊協会もこれについては試験方法の調査を行う。機能を分割する方法も模索する。

《西川(株)指摘、伝達》

1. N数10での各種データ取得時に食事や運動の情報も参考資料として併せ持てるか確認。
2. 成長ホルモン、血中コルチゾール等を測定している時刻も確認しておく。

以上